



2019年10月16日

各位

会社名 株式会社 フジトミ
 代表者名 代表取締役社長 細金 英光
 (JASDAQ・コード 8740)
 問合せ先 取締役業務本部長 新堀 博
 電話 03-4589-5500
 当社の親会社 株式会社 小林洋行
 代表者名 代表取締役社長 細金 成光
 (東証第一部・コード 8742)

2020年3月期 第2四半期連結累計期間の業績速報
 及び特別損失の計上に関するお知らせ

2020年3月期第2四半期連結累計期間の業績につきましては、現在集計中ではありますが、現在までの集計結果に基づく連結業績見込は下記のとおりであります。また、特別損失の計上についても下記のとおりお知らせいたします。

当社は、2020年3月期の的確な業績予想を行うことが難しいため、業績予想を開示せず、四半期毎に業績速報を開示させて頂くこととしております。

記

1. 2020年3月期 第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日)業績見込 (単位:百万円)

	営業収益	営業総利益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
前期第2四半期累計期間実績(A)	835	710	△181	△172	△163
当期第2四半期累計期間見込(B)	1,080	827	△130	△123	△150
増減額(B-A)	244	116	51	48	12
対前年同期増減率	29.3%	16.4%	—	—	—

【ご参考】

(単位:百万円)

前期実績	営業収益	営業総利益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
2019年3月期 通期実績(連結)	1,910	1,570	△255	△249	△245

・業績概要等

当第2四半期連結累計期間の商品先物取引受託業務の受取手数料は290百万円(前年同四半期比25.2%減)、金融商品取引受託業務の受取手数料は338百万円(同17.6%増)となり、商品先物取引自己売買業務の売買損益は3百万円の利益(前年同四半期は83百万円の損失)、くりっく365振興料等は45百万円(前年同四半期比782.6%増)となりました。

また、保険募集業務の受取手数料は98百万円(前年同四半期比27.7%増)、保険料等収入は38百万円(同21.3%減)、不動産の賃貸料収入は21百万円(同7.2%減)、不動産販売の売上高は238百万円(同196.5%増)、LED照明等の売上高は0百万円(同93.2%減)となりました。

これらの結果、当第 2 四半期連結累計期間の業績は、営業収益 1,080 百万円（前年同四半期比 29.3% 増）、営業総利益 827 百万円（同 16.4% 増）、営業損失 130 百万円（前年同四半期は 181 百万円の営業損失）、経常損失 123 百万円（前年同四半期は 172 百万円の経常損失）となりましたが、投資有価証券売却益 92 百万円の特別利益と、投資有価証券評価損 19 百万円及び後掲の固定資産の減損処理で 97 百万円の特別損失があり、親会社株主に帰属する四半期純損失は 150 百万円（前年同四半期は 163 百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となる見込みであります。

（注） 上記に記載した数値は現在までの集計結果に基づく速報値で、会計監査人による監査前であるため、後日開示する業績とは異なる場合があります。

2. 特別損失（固定資産の減損損失）の計上

当社は、継続的な営業損失の計上により保有する固定資産について減損の兆候が認められたことから、将来の回収可能性を検討した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失 97 百万円を特別損失として計上することといたしました。

3. 今後の見通し

現在本件以外に開示すべき事項はありませんが、新たに開示の必要性が生じた場合には適宜公表いたします。

以 上